

取組と目標に対する自己評価シート

伊賀市：自立支援・重度化防止

タイトル	地域共生社会の推進、相談支援体制の充実
------	---------------------

年度	2019（令和元）年度
----	-------------

前期（中間見直し）

実施内容	伊賀市高齢者輝きプラン（第5次高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画）P31, 32
自己評価結果	
課題と対応策	

後期（実績評価）

実施内容						
総合相談支援延べ件数（地域包括支援センター）						
計画期	第6期			第7期		
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値				6,350件	6,350件	6,350件
実績値	6,401件	6,277件	6,790件	7,418件	7,845件	
自己評価結果（◎）						
介護や認知症等をきっかけに支援を開始する中で、経済的に困窮していること、虐待を受けていることなど複雑な課題を把握することも多く、関係機関と連携を図り必要な支援につなげることができた。						
課題と対応策						
福祉の一次相談窓口として、地域包括支援センター（本庁、東部サテライト、南部サテライトの3か所）に三職種（社会福祉士、保健師、主任介護支援専門員）を置き、それぞれの専門性を活かして相談を受け、適切な関係機関へつなげる。また、より困難な相談事例に対応するため、専門職種のスキルアップを図る。						